

一般社団法人 日本応用地質学会

令和4年度・2022 年度

## 第3回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2022 年 8 月 29 日(月) 15:00~17:30

場 所 : 日本応用地質学会 事務局、Zoom を用いた Web 会議(併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、越谷委員、徳楠委員、水野委員、百嶋委員、百瀬委員、安田委員、山田幹事

委任状提出: 昆委員、山下委員

陪席: 茶石顧問

## 議事:

## 1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2022 年 6 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

## 2. 理事会報告

- ・令和4年度第 5 回理事会の内容について報告がなされた。

## 3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

## (1) IAEG 事務連絡

## 1) IAEG Annual Report (2021-2022)

- ・レポート案について説明がなされた。構成については、今回の他国レポートを参考にした上で、過去の報告事例(活動実績&計画)のほうがよいかを再考する。

## 2) IAEG Newsletter 関連

- ・2022 No.2 の投稿原稿について説明がなされた。
- ・2022 No.3 の投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。(10 月の研究発表会など)
- ・募集中の表紙写真について、学会事務局長より、学会誌表紙に使用した写真やフォトコンテストの題材から選定したものを JapanNG から IAEG へ投稿することは可能との判断を頂いた。

## 3) IAEG 役員改選について

- ・会長との打合せ結果について報告がなされた。2026 年の次期改選へ向けて、会長との調整を継続する。
- ・今後は、2023 年開催予定の IAEG XIV コンgress(中国成都)や第 14 回 ARC&IAEG 総会(マレーシア)でのロビー活動に向けて、諸々の調整と準備を進める。
- ・2022 年の役員改選では、JapanNG とのこれまでの関係性を鑑みて、ネパール・韓国の2名を推薦する。

## 4) IAEG 本部対応(会費納入)

- ・2022 年の会費納入結果について説明がなされた。

## 5) 他 National Group との交流について

## &lt; 韓国 &gt;

- ・秋の研究発表会での KSEG 会長による講演へ向けて、引き続き準備を進める。
- ・録画動画のIAEGへの Webinar 投稿については、KSEG 秋季大会 HP での担当者へ確認を取った上で提供準備を進める。

## &lt; CHINESE TAIPEI &gt;

- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の代表から回答があり、YEGsのメンバー2名を窓口として交流を進めたこと。まずは、10 月の研究発表会に向けた情報収集を行う。

・JSEG 側の YEGs 対応メンバーの増員候補についても検討する。

<その他>

・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質研究部会(60周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版PPT)を常備しておくのが望ましい。

#### 6) 査読依頼(中国科学院より)

・中国からの査読依頼について説明がなされた。念のため、JSEG として返信しておく。  
・一方で、IAEG Bulletin の Editorial Board (EB) における日本担当者が不明のため、Editor-in-Chief (EICs) へ状況を確認する。

### (2) その他

#### 1) 学会誌 Bulletin 紹介

・学会誌 10月号の掲載記事について説明がなされた。次号担当の進捗状況を確認する。  
・編集委員会からの指摘事項については、委員会内で共有を図るようにする。  
・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。  
・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容の一例として、各担当が自身の得意とする業務分野に着目し、同分野での Bulletin 掲載論文の紹介を絡めて、最近の国内動向との比較を行う、など。

#### 2) ダイバーシティ推進特別委員会

・令和4年度第4回委員会の議事録について説明がなされた。  
・来年度も引き続き講師を募集中とのこと(海外アラカルトで発表された方など)。

#### 3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について(研究発表会\_特別セッション開催)

・当日の進行シナリオを委員会内で共有した上で、開催2週間前あたり(9/26の週)を目処に事前打合せを行う(Web)。  
・次回理事会にて、本セッションへの会長および副会長の参加を依頼する。また、冒頭の発表では国際会員への入会を促すため、国際委員会の方向性(IAEGでの活動を含む)や入会時のメリット等についても触れるようにする。  
・KSEG 会長の発表と質疑応答は英語で行い、その他の発表等は日本語で行うこととする。左記状況について、事前に KSEG 会長へメールで伝え了解を得るようにする。その際、韓国からの聴講希望者の有無についても確認し、必要に応じて事業企画委員会へ相談する。  
・KSEG 会長らの発表に対する質疑応答は国際委員のほうで複数準備しておくとともに、各委員の所属会社からのセッション参加者(若手中心)も募っておく。

#### 4) 報告書執筆特別委員会関連

・引き続き特別委員会との情報共有を図りながら、国際委員会としては英語版の意義等を検討し対応方針を早めに固めたい。

#### 5) 大学機関からの国際委員会への参加について

・若手の大学関係者 ⇒ 国際委員会、YEG にも加わってもらう方向で要請する。  
・その他に、大学の海外留学生(学会員になれば参加可能)などにも打診する方向で検討する。

#### 6) 海外シンポジウム

・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG\_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

### 4. ホームページ関係

#### (1) JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討は担当委員が主体となって進める。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供 (SNS) や写真集コーナー新設 (HP) (災害調査団&海外調査団 (ネパールと韓国はある?)) などの対応準備を進める。
- ・災害地質研究部会の部会長に対して、災害調査団報告の英語版ひな型 (写真+コメント) を送付し、今後の掲載に向けてご協力頂けるとの回答をもらった。
- ・国際委員会としての学会 Facebook の活用方法については、引き続き検討する。

## (2) JSEG 日本語版 HP

- ・広報・情報委員会からの要請を受けて、今後の学会 HP トップページの国際関連情報は国際委員会にて更新対応することとした。
- ・国際委員会としての学会 Facebook の活用方法については、引き続き検討する。

## 5. 海外情報の共有

- ・「海外アラカルト」講演について今後も継続するため、海外業務の経験豊富なメンバーへの協力を要請する。

## 6. 重要案件の対応

### (1) 韓国・CHINESE TAIPEI Regional Group との交流推進

- ・本活動は、下記(2)とのセット対応も含めて検討する。
- ・CHINESE TAIPEI Regional Group の連絡窓口は、以下の通り。  
Dr. Ya-Chu Chiu. (Female) Assistant professor, National Chung Hsing University. clarice.chiou@gmail.com  
Dr. Che-Ming Yang. (Male) Assistant professor, National United University. stanleyyangcm@gmail.com  
Li-Yuan Fei, the representative of IAEG Chinese Taipei National Group

### (2) 若手技術者向けの海外技術関連情報の発信

- ・秋の研究発表会で特別セッションを設け、JSEG 講演者 (5名) と海外招待者 1名 (KSEG) の発表を行う。

### (3) HP等での海外発信用コンテンツの作成

- ・学会 Facebook の利活用方法など。
- ※災害調査団速報も含むため、災害地質研究部会への英訳作成協力を要請する。

## 7. その他

- ・次回委員会 (令和 4 年度\_第 4 回) は、令和 4 年 10 月下旬に開催する方向で調整する。なお、研究発表会に向けた事前打合せは、本番の約 2 週間前を目処に Web で実施する。

以上